

刀剣文化を発信

博物館ボランティア養成講座を開催



学芸員の説明に耳を傾ける参加者

5月9日、備前長船刀剣博物館で博物館ボランティア養成講座を開催しました。

参加した14人は、国民文化祭「備前おさふね名刀フェスティバル」についての説明を受けた後、備前おさふね刀剣の里を見学。学芸員が刀の製作工程などを解説すると熱心に耳を傾けていました。

刀剣を基礎から学べる同講座は、全6回の開催で途中からの参加も可能です。なお、この他にも国民文化祭のボランティアを募集しています。

■応募先 社会教育課 ☎0869-34-5601

須恵器の里で地域交流

須恵古代まつりが開催



地元の人による屋台は大にぎわい！

5月3日に須恵古代館周辺で、須恵古代まつりが開催されました。須恵器の里として有名な地域の歴史にちなんで始められたもので、今年で15回を迎えました。

古代の道具を使って子どもたちが火おこしに挑戦するオープニングショーに続き、美和小学校の児童による美和っ子太鼓、父母たちで構成されたとっかあず、名刀太鼓が勇壮な太鼓の演奏を披露。ビンゴゲームやカラオケなども行われ、子どもから大人まで楽しい時間を過ごしていました。

陶芸の奥深さに触れる

春の寒風陶芸展が開催



家族みんなで楽しく土ひねり

5月3日から5日までの3日間、寒風陶芸会館で、春の寒風陶芸展が開催されました。

家族連れや友人のグループが多数訪れ、土ひねりや絵付けに挑戦し、思い思いの作品を仕上げていました。完成した作品は、窯で焼かれ、後日届けられることになっています。

寒風陶芸の里作家による作品の展示会、ロクロの実演や備前焼が格安で手に入るワゴンセールなども行われ、訪れた人は陶芸が持つ魅力を味わっていました。



今月の表紙

4月29日に大賀島寺(邑久町豊原)で権現祭りが行われました。

豊安、仁生田、円張、邑久郷(岡山市)の子どもたちが、この日のために練習を重ねてきたシャギリを奉納。太鼓や鼓、かねの音が客殿に響き渡りました。

また、午後からは、竜頭や舟形の4基のだんじりやみこしが境内を練り歩き、詰めかけた人たちを魅了していました。

消防技術の向上を目指して

岡山県消防操法訓練大会



火点へ向かって全力疾走する安木指揮者



放水を行う石川慎二1番員ととび口を構える久山貴史2番員

5月16日、岡山県消防操法訓練大会が岡山県消防学校(岡山市)で開催され、瀬戸内市消防団美和、国府および行幸分団から5人の選手が小型ポンプ操法の部に出場しました。

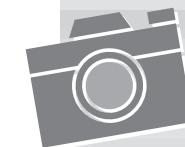
消防操法とは、給水から放水、撤収するまでの一連の手順の演技を行い、迅速さや正確性などを競うものです。選手の皆さんは、昨年大会出場に向けて、休日・夜間に訓練を重ねてきました。

大会では、安木進指揮者の掛け声の下、選手たちはホースの延長や防火水槽への吸管的の投入などをきびきびとした動作で披露。

上位入賞を果たすことはできませんでしたが、訓練・大会を通じて、消防技術の向上とともに団員同士の絆も強まりました。



ポンプ操作を行う江口健太3番員



まちの話題

